

科目名	発展ゼミナールⅡ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	池 田 久 剛						
開講年次	3	開講期	通年	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	本演習では、児童、障害者、病者などの心理・社会的支援についての幅広い領域に関する興味を深め、心理・社会的支援の基礎、倫理、技術についての概説する。また卒業論文作成への基本的理解を深めるため、文献検索の仕方や、資料収集の方法などについて説明し、演習する。						
授 業 の 到達目標	①社会問題に関心を持ち、現状を調べることができる。 ②社会問題について、現状と課題が整理できるようになる。 ③問題意識を明らかにし、卒論のテーマを絞り込むことができる。 ④基本的な構想を言語化できるようになる。 ⑤課題に即した資料・文献収集ができるようになる。 ⑥課題の報告を機材を用いてプレゼンテーションできる。 ⑦卒業論文作成に向けた動機を高め、テーマを設定して取り組む。 ⑧図書館やネットを通じて情報を収集し、分析できる。 ⑨自己の実践活動についてまとめる力量を高める。 ⑩卒業論文の章立てを行い、書き始めることができる。						
学習方法	各自の自己学習を元に、演習形式で発表、ディスカッションを中心とする。論文は各自の努力を大前提とする。それだけに、授業以前での各自の「仕込み」が大事であるとともに、小集団で授業を行うことの意味を考え、積極的なディスカッションを求める。						
テキスト及び参考書等	授業の中で適宜紹介する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎	◎	25		
授業態度	◎	◎	◎	◎	25		
受講者の発表	◎	◎	◎	◎	25		
授業への参加度	◎	◎	◎	◎	25		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
通 年	第1週	オリエンテーション					
	第2週	自己紹介と所信表明					
	第3週	4年生デザイン発表①					
	第4週	4年生デザイン発表②					
	第5週	4年生デザイン発表③					
	第6週	4年生デザイン発表④					
	第7週	4年生デザイン発表⑤					
	第8週	4年生デザイン発表⑥					
	第9週	3年生発表①					
	第10週	3年生発表②					
	第11週	3年生発表③					
	第12週	3年生発表④					
	第13週	3年生発表⑤					
	第14週	3年生発表⑥					
	第15週	前期の評価 (試験など)					
	第16週	4年生発表練習①					
	第17週	4年生発表練習②					
	第18週	4年生発表練習③					
	第19週	4年生発表練習④					
	第20週	4年生発表練習⑤					
	第21週	3年生発表⑦					
	第22週	3年生発表⑧					
	第23週	3年生発表⑨					
	第24週	3年生発表⑩					
	第25週	3年生発表⑪					
	第26週	3年生発表⑫					
	第27週	3年生発表⑬					
	第28週	3年生発表⑭					
	第29週	3年生発表⑮					
	第30週	まとめ					
	第31週						
	第32週						
備 考	・授業や評価について重要なことは、授業の冒頭に述べる人が多いので、遅刻して聞き逃すことのないように。 ・普段から継続的に学習を積み重ねてください(付け焼ぎ刃、その場しのぎにならないように)。 ・遅刻、早退、授業中の私語など、授業の妨げになるような行為が続く場合受講を制限することがあります。 ・事前の文献レビューを丁寧にしない、各人のテーマに対して、明らかになっていることと、課題として残されていることを明確にすること。						